

令和07年度 第4回 本所警察署協議会 議事概要

開催日時 令和08年03月27日 午後03時00分～午後04時15分

開催場所 本所警察署 講堂

出席者 協議会委員 8名
署長ほか 1名

内容

会議に先立ち、「警察署協議会運営要綱の一部改正」について、資料を配付し、委員への説明を行った。

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望の取組結果について
 - (1) 薬物の購入方法、薬物乱用における身体に与える影響と周囲に与える影響

【回答】

ア 若年層の薬物等購入方法
 (ア) インターネットやSNSを通じて入手する傾向
 (イ) インターネット以外での購入は、「友人・知人」が関与している。
 (ウ) グラフ等において、検挙人員の割合、使用した経緯、動機、隠語の一例を紹介

イ 身体に与える影響と危険性
 (ア) 身体の様々な器官への障害、特に脳への影響が大きい。
 (イ) 「依存性」により、薬物から離れられず、社会生活に多大な影響をもたらす。
 - (2) 若年層に対する「違法薬物はなぜ悪いのか」「薬物の怖さ」を植え付ける薬物乱用防止教室の実施

【取組】少年係が各学校の要請に基づき、「安全教室等」の実施、継続した広報啓発活動を行っている。
 - (3) 薬物事案に関する様々な悩みや困りごとを聞いてくれる敷居の低い窓口や支援、専門機関の設置状況

【回答】保健所等各種相談窓口の紹介、各種ホットライン、警視庁総合相談センター(9110)等を紹介
- 2 業務報告
 - (1) 天皇皇后両陛下両国国技館(天覧相撲)行幸啓警衛警備の実施について
 - (2) 東京マラソン2026警備の実施について

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容

匿名・流動型犯罪グループ対策

 - (1) 匿名・流動型犯罪グループとは

ア トクリュウの特徴
 (ア) 徹底した役割分担、匿名性の高い通信アプリを使用
 (イ) メンバーが流動的で短期間に入れ替わり、実態解明が困難
 - (2) トクリュウによる犯罪

犯罪の手口は様々であり、最近最も多いのが警察官騙りの手口、新しい手口がすぐに広まり、被害が拡大しやすい傾向にある

ア 特殊詐欺
 闇バイトで集めた少年達による特殊詐欺

イ 強盗・窃盗
 手っ取り早く金を手に入れるため手口が荒っぽくなっている

ウ 悪質リフォーム等の訪問契約
 - (3) SNSへの書き込み

若者や生活困窮者をターゲットにして犯罪の実行犯を募集している

ア 闇バイト募集

イ 融資を装う

ウ 派手な生活をアピール
 - (4) 警察による様々な取組

ア 闇バイト対策

イ 特別捜査課、匿名・流動型犯罪グループ対策本部等の専門部署を新設

ウ 当署の去年の特殊詐欺事件検挙、事件送致数の紹介

- (5) 都民の皆様をお願いしたいこと
 - ア デジポリスの普及
 - イ 闇バイトに応募させない社会づくり
- 2 協議会からの意見要望等
 - (1) あらゆる機会を通じた情報発信による犯罪や被害の防止対策
新しい犯罪手口、闇バイトの募集内容などを基に家庭でも子供達に知識を植え付けていきたい。
 - (2) 匿名性の高い通信アプリの規制や取締りの可否と不可能であれば、闇バイトに募集した者の保護対策強化。
 - (3) 特殊詐欺等で得た資金の流れ、どのように利用されているのか知りたい。

[その他の意見要望等]

- 1 デジポリスの普及について
- 2 iPhoneのデジポリス国際電話ブロックシステムは必要な電話までブロックされてしまう、着信したことに気付かない。

その他	なし
-----	----

令和07年度 第3回 本所警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年12月03日 午後04時00分～午後05時15分

開催場所 本所警察署 講堂
出席者 協議会委員 9名
署長ほか 1名

内容

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望の取組結果について
 - (1) 実際の詐欺被害の事例において、犯人と被害者の詳細な会話のやりとり等について教えてほしい。
 - 【回答】
 - ア 特殊詐欺事件の半数が警察官をかたった電話等による被害である。
 - イ デジポリスアプリの犯人の音声コーナーで警察官をかたりLINEに誘導する手口を試聴
 - (2) 詐欺被害を防止した金融機関の職員やコンビニ店員と被害者とのやりとりについて教えてほしい。
 - 【回答】
 - ア 金融機関と警察の協力体制により、金融機関からのホットライン通報で詐欺被害を未然に防止した事例を紹介
 - イ コンビニエンスストアと警察の協力体制により、コンビニエンスストアからの110番通報で詐欺被害を未然に防止した事例を紹介
 - (3) 町会の会合等において、より多くの防犯講話の機会を作ってほしい。
 - 【取組】本所署で実施した金融機関、町会、自治会等、幅広い世代に対する防犯講話等の被害防止対策状況を紹介
 - (4) 学校等において中高生に対する被害防止講話の機会を増やした方がよいと思う。
 - 【取組】少年係が各学校と連携し、学校に出向いて「安全教室等」の実施状況を紹介
- 2 業務報告
 - (1) 天皇皇后両陛下東京都慰霊堂（御供花）行幸啓警衛警備実施について
 - (2) 交通死亡事故の発生について

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容

若年層に向けた薬物乱用等の非行防止対策について

 - (1) 少年非行等の概況（警視庁管内・本所署管内）
 - (2) 禁止薬物標本の一例
 - (3) 若年層における大麻を巡る情勢
 - ア 危険（有害）性の認識
 - イ 大麻使用の経緯・動機
 - ウ 危険（有害）性を軽視する情報源
 - (4) 本所署の薬物事案検挙数と年齢別の検挙割合
 - (5) 薬物乱用の弊害
 - ア 精神・身体への弊害
 - イ 禁止薬物の特徴
 - ウ 社会に与える影響
 - (6) 薬物乱用防止対策の必要性
 - (7) 薬物事案の取締り状況
 - (8) 薬物乱用防止広報啓発活動
 - ア 東京都薬物乱用防止推進協議会における生安課長講話
 - イ 少年補導員委嘱式における薬物乱用防止講話
 - ウ 小中高等学校における薬物乱用防止教室
 - (9) 薬物乱用防止の広報誌の一例
- 2 協議会からの意見要望等
 - (1) 若年層に対する「違法薬物はなぜ悪いのか」「薬物の怖さ」を植え付ける薬物乱用防止教育を徹底していただきたい。
 - (2) 薬物購入方法、薬物乱用における身体に与える影響と周囲に与える影響について教えてほしい。

(3) 薬物事案に関する様々な悩みや困りごとを聞いてもらえるような、敷居の低い窓口や支援、専門機関の設置状況について教えてほしい。

[その他の意見要望等]

なし

その他

デジポリスアプリによる国際電話ブロックシステムの紹介

令和07年度 第2回 本所警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年09月11日 午後03時00分～午後04時45分

開催場所	本所警察署 講堂	出席者	協議会委員 7名 署長ほか 1名
------	----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望の取組結果について
 - (1) 路線や地域ごとの駐車監視員の活動状況について教えてほしい。
 - 【回答】
 - ア 違法駐車が多い地区
錦糸町駅南口を含む江東橋地区
 - イ 違法駐車が多い路線
最重点路線である北斎通り、清澄通り
 - (2) 速度取締りの重点路線を指定する根拠や統計
 - ア 速度超過事故の発生状況
 - イ 規制速度の死亡事故被害軽減効果
 - ウ 危険認知速度と致死率
 - (3) 学校周辺だけでなく公園等の子供が集まりやすい場所の周辺を各種取締りの重点地域に指定した方が防犯の観点からも良いのではないか。
 - 【取組】
 - ア 児童に対する横断歩道横断訓練や登下校時の保護誘導活動
 - イ 各種交通安全教育の実施
- 2 業務報告
 - (1) 隅田川花火大会における交通対策、雑踏警備
 - (2) 秋の全国交通安全運動の推進

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
特殊詐欺被害防止対策について
 - (1) 被害発生状況
 - ア 警視庁管内における被害状況
 - イ 管内の被害発生状況
 - ウ 管内における手口別被害状況
 - (2) 広報啓発活動
 - ア 民生委員や児童委員
 - イ 各町会の会合
 - ウ 東京楽天地デジタルサイネージの活用
 - エ 国際電話不取扱受付窓口の設置
 - (3) パトロール、キャンペーン等
 - ア 防犯ボランティア「パトラン東京」との連携
 - イ 三菱UFJ銀行押上支店における被害防止キャンペーンの実施
 - ウ 高齢者宅への戸別訪問による各種対策の促進
 - (ア) 自動通話録音機の設置
 - (イ) ナンバーリクエスト機能の設置
 - (ウ) 国際電話不取扱の申込み
 - エ 「ストップ! ATMでの携帯電話」対策の実施
 - (ア) ポスター掲示による呼び掛け
 - (イ) 防犯協会役員との合同警戒による利用者への呼び掛け
 - オ 関係機関との連携
 - (ア) 金融機関との連携
 - ・ 「ホットライン通報」の依頼
 - ・ 当署幹部職員による金融機関に対する直接訪問
 - (イ) コンビニエンスストアとの連携
「コンビニサポートポリス制度」の導入
- 2 協議会からの意見要望等

- (1) 実際の詐欺被害の事例において、犯人と被害者の詳細な会話のやりとり等について教えてほしい。
- (2) 水際で詐欺被害を防止した金融機関の職員やコンビニ店員と被害者とのやりとりについて教えてほしい。
- (3) 町会の会合等において、より多くの防犯講話の機会を作ってほしい。
- (4) 学校等において中高生に対する被害防止講話の機会を増やした方がよいと思う。

[その他の意見要望等]

なし

その他	なし
-----	----

令和07年度 第1回 本所警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年06月04日 午後01時30分～午後04時30分

開催場所 本所警察署 講堂
出席者 協議会委員 9名
署長ほか 1名

内容

会議に先立ち、会長、副会長を互選した。

[業務説明]

- 協議会からの意見要望の取組結果について
- 1 災害の専門家による講話や講演等を開催してほしい。
【取組】
(1) 「ふれあい連絡協議会」などを利用した町会における啓発活動を実施
(2) 警視庁警備部災害対策課の紹介
 - 2 消防庁の防災館を活用して災害対策の広報啓発活動を推進してほしい。
【取組】
(1) 消防庁「防災館」の紹介
(2) 東京都「そなエリア東京」の紹介
 - 3 区や民生委員と連携して独居世帯や高齢者世帯の情報を共有することで災害時の救助活動等に活用できるのではないかと。
【回答】「墨田区要配慮者避難支援プラン」に基づく区役所等との連携について紹介
 - 4 富士山噴火に備えてどのような対策を講じているのか教えてほしい。
【回答】
(1) 火山灰の降灰による影響
ア 吸い込みによる呼吸器系統への影響
イ 各種機械類における故障
ウ 積灰による家屋の倒壊等
(2) 噴火時に有効な装備資器材の紹介

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 管内における交通事故の発生状況
 - ア 総発生件数
(ア) 死亡者数
(イ) 重傷者数
(ウ) 軽傷者数
 - イ 重篤事故の連続発生について
(ア) 京葉道路、乗用車とバイク(4月6日)
(イ) 区道、軽貨物と高齢歩行者(4月15日)
 - ウ 交通事故防止対策
(ア) 赤色灯点灯走行
(イ) 通学路対策、各種キャンペーンの実施
 - (2) 駐車監視員活動ガイドラインの見直しについて
 - ア 最重点路線 主要幹線道路(三ツ目通り、京葉道路)
錦糸町駅南口繁華街(ダービー通り、牡丹橋通り)
 - イ 重点路線 区道～国技館通り 等
 - ウ 最重点地域 錦糸町駅周辺、東京スカイツリー周辺の繁華街
 - エ 重点地域 両国駅、両国国技館周辺、各小中学校周辺地域
 - (3) 速度取締指針の見直し
 - ア 警視庁指定重点路線
 - イ 水戸街道(国道6号)、京葉道路(国道14号)など9路線
 - ウ 当署指定重点路線
浅草通り バスレーンが指定されており、過去に死亡事故が発生
春日通り 横断抑止柵がない、児童の通学路になっている
 - エ 重点区域
(ア) 「ゾーン30」の指定：生活道路における時速30キロ規制等、歩行者の安

全確保エリア

- (イ) 各小学校周辺登下校時における保護誘導活動
- (ウ) パトカーや白バイによる赤色灯点灯走行
- 2 協議会からの意見要望等
 - (1) 説明のあった駐車監視員活動ガイドライン及び速度取締指針に賛同する。
 - (2) 路線、地域ごとの駐車監視員が発見した違法駐車の数等を教えてほしい。
 - (3) 速度取締りの重点区域を指定する根拠となる違反件数等の統計があれば示してほしい。
 - (4) 学校周辺だけでなく公園等の子供が集まりやすい場所の周辺を各種取締りの重点地域に指定した方が防犯の観点からも良いのではないか。

[その他の意見要望等]

- 1 一方通行路における安全の確保について
管内に道幅の広い一方通行路が多く存在するが、他府県ナンバーを中心に車両が逆走しているのをよく見かけるので対策を講じてほしい。
- 2 歩行者用信号機のサイクルについて
錦糸町駅北口の歩行者用信号機の青信号の時間が短く、高齢者や小さな子供の横断中に信号が変わり危険であるため、信号機のサイクルの変更を検討してほしい。

その他	なし
-----	----

令和06年度 第4回 本所警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年03月14日 午後03時00分～午後04時30分

開催場所 本所警察署 講堂
出席者 協議会委員 9名
署長ほか 2名

内 容

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望の取組結果について
 - (1) 自転車専用通行帯と車道の境目に白線を設けて明確化してほしい。
【取組】自転車専用通行帯を区分する線は、破線で設置することになっているため、実線を設置することはできない。道路管理者と連携し、青色舗装や白線の補修をして対応する。
 - (2) 公道カートや電動キックボード等の取締りを強化してほしい。
【取組】
 - ア 電動キックボードの取締り件数は、昨年比約10倍に増加している。
 - イ 車種別では電動キックボードの取締り件数が最も多く、違反種別では歩道通行と信号無視の違反が多い。
 - ウ ペダル付き電動バイク(モペット)の取締りの強化
 - エ 各種キャンペーン等において交通ルールと安全な乗り方について発信する。
 - オ 企業や学校における交通安全講話において、新型モビリティの正しい利用方法について広報啓発活動を推進する。
 - カ 公道カートの利用客に交通法規やマナーの遵守を徹底させるよう、管内の事業者に指導した。
 - (3) 道路交通法の改正内容を周知し、改正のあった違反について、重点的に取締りをしてほしい。
【取組】
 - ア 道路交通法の改正点についてキャンペーンや安全講話で情報発信をした。
 - イ 自転車の酒気帯び運転違反を6件検挙した。
 - ウ 自転車乗車中の携帯電話使用や酒気帯び運転の取締りを強化し、各種広報活動を積極的に展開する。
- 2 業務推進結果
 - (1) 特殊詐欺事件の検挙事例
 - ア ゆうちょ銀行員を装った詐欺事件
 - イ 病気の息子を装ったオレオレ詐欺事件
 - (2) 「東京マラソン2025」における交通、警備対策の完遂

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容

災害対策について

 - (1) 震災時の被害状況
 - ア 阪神淡路大震災時の被害状況
 - (ア) ビル等の建物の倒壊
 - (イ) 高速道路や鉄道等の高架橋の倒壊
 - イ 東日本大震災時の被害状況
 - (ア) ビル等の外壁の損壊
 - (イ) 水道管の破裂やガス漏れ
 - (ウ) 隅田川の逆流現象
 - (2) 災害に対する備え

被災時の人命救助活動について

 - ア 過去の被災を教訓に様々な災害を想定した救助訓練
 - イ 町会のイベント等における避難活動に関する啓発活動
 - ウ 「自助」「共助」の重要性を確認
 - エ 当庁災害対策課のSNSを活用した情報発信の紹介
 - (3) 懸念事項
 - ア 発生が予想される大地震
 - (ア) 南海トラフ地震

- (イ) 首都直下型地震
- イ 軟弱な地盤と海拔の低さ
- (ア) 海拔ゼロメートル地帯
- (イ) 本所署水害ハザードマップ
- (4) 震災訓練の実施
 - ア 日本語学校に通う外国人を対象とした避難訓練
 - イ 官民が連携した災害に強い街づくり
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 災害の専門家による講話や講演等を開催してほしい。
 - (2) 消防庁の防災館を活用して災害対策について広報啓発活動を推進してほしい。
 - (3) 区や民生委員と連携して独居世帯や高齢者世帯の情報を共有することで、災害時の救助活動等に活用できるのではないか。
 - (4) 富士山の噴火に備えてどのような対策を講じているのか教えてほしい。

[その他の意見要望等]

なし

その他	なし
-----	----

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第3回 本所警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年12月11日 午後04時00分～午後05時10分

開催場所	本所警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 2名
------	----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 前回会議での要望に対する取組（特殊詐欺対策）
 - (1) 高齢者の家族に対する被害防止策の周知
生活安全課員のみならず挙署一体の体制で、高齢者宅を戸別訪問
 - (2) 被害防止アイテムと入手方法
 - ア 自動通話録音機
 - イ ナンバーディスプレイとナンバーリクエスト
 - ウ 警視庁防犯アプリ「デジポリス」
 - (3) 高齢者が集まる会合等での防犯講話
 - ア 防犯講話の実施
 - (ア) 全国地域安全運動「本所地域安全のつどい」
 - (イ) 立川三丁目町会長寿会
 - イ ケーブルテレビでの情報発信
ジェイコム東京すみだ台東局に防犯情報等の発信を依頼
- 2 当署による主な事件検挙
外国人旅行者によるゴミへの放火事件

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
交通事故防止対策
 - (1) 管内の交通事故情勢
 - ア 交通人身事故の発生状況
発生件数と内訳（軽傷、重傷、死亡）
 - イ 事故の傾向（第七方面区内全体との比較）
 - (ア) 二輪車・貨物車・子供の関与率が高い。
 - (イ) 高齢者・自転車の関与率が低い。
 - (2) 死亡事故の発生
普通自動車と大型バイクの事故（7月9日）
 - (3) 年末における重大交通事故未然防止対策
 - ア 前照灯のハイビーム走行
 - イ 路上寝込み者発見時の対応
 - (ア) 110番通報
 - (イ) ハザードランプの点灯など後続車両への注意喚起
 - (4) 令和6年TOKYO交通安全キャンペーン
 - ア 歩行者の安全確保
 - イ 薄暮時間帯や夜間の事故防止
 - ウ 飲酒事故の根絶
 - (5) 広報啓発活動
 - ア 高齢者の事故防止
 - (ア) 押上駅、錦糸町駅南口での高齢者交通安全キャンペーン
 - (イ) 墨田区老人クラブ連合会での安全講話
 - イ 合同キャンペーン
首都高速道路、警視庁高速隊とソラマチ（スカイツリー）において実施
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 自転車走行帯（車道脇の青いマーク部分）に路側帯のような白線を設けて車道との境目を明確化してほしい。
 - (2) 公道カートや電動キックボード等の新しい乗り物の取締りを強化してほしい。
 - (3) 道路交通法改正について、改正内容を周知徹底し、該当する違反の重点取締りを実施してほしい。
 - (4) 放置自転車対策の成果を実感しているので、これを継続してほしい。

[その他の意見要望等]

なし

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第2回 本所警察署協議会 議事概要			
開催日時	令和06年10月03日 午後03時00分～午後04時45分		
開催場所	本所警察署 講堂	出席者	協議会委員 8名 署長ほか 2名
内 容			
<p>[業務説明]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前回会議での意見要望に対する取組結果 <ol style="list-style-type: none"> (1) 駐車監視員の活動について <ul style="list-style-type: none"> 【回答】薄暮時間帯勤務の新設等、活動時間のランダム化が活動が減った印象を与えているのかもしれないが、駐車監視員の活動総数は増加している。 (2) 自転車の安全運転、歩行者の正しい道路横断についての指導・啓発の強化 <ul style="list-style-type: none"> 【回答】・自転車や電動キックボードの違反取締りを強化 ・裏路地等における危険な走行について指導警告を強化 ・通学路における児童の保護誘導活動を実施 2 当署の主な活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 隅田川花火大会警備（7月29日）の完遂 (2) 秋の全国交通安全運動（9月21日から30日まで）の実施結果 <p>[警察署の業務に関する意見等の聴取]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 署長から協議会への説明内容 <ul style="list-style-type: none"> 特殊詐欺被害防止対策 (1) 特殊詐欺の被害状況 <ul style="list-style-type: none"> ア 被害の件数と金額 イ 手口別被害状況 (2) 「アポ電」入電時の対策 <ul style="list-style-type: none"> ア 広報車両による注意喚起 イ ATMに署員を配置して警戒 (3) 高齢者の被害防止 <ul style="list-style-type: none"> ア 高齢者宅への戸別訪問 イ 高齢者が集う会合での防犯講話 ウ 墨田区が無料で貸し出す「自動通話録音機」設置の促進 (4) 関係機関等と協働した取組 <ul style="list-style-type: none"> ア 金融機関 <ul style="list-style-type: none"> 「ストップ！ATMでの携帯電話」の呼び掛け イ コンビニエンスストア <ul style="list-style-type: none"> だまされたおそれのある来客について通報を依頼 ウ 本所署少年柔剣道部員 <ul style="list-style-type: none"> 錦糸町駅前高齢者に向けた防犯キャンペーン 2 警察署協議会からの意見要望等 <ol style="list-style-type: none"> (1) 広報啓発活動の強化 <ul style="list-style-type: none"> ア 高齢者の家族に対する被害防止策の周知を徹底させる活動を強化してほしい。 イ 自動通話録音機、デジポリス等、被害防止のためのアイテムの存在と入手方法について、より一層広報してほしい。 (2) 防犯講話の開催推進 <ul style="list-style-type: none"> 多くの高齢者が集まる町会の会合等に、今まで以上に署員を派遣して防犯講話を実施してほしい。 <p>[その他の意見要望等]</p> <p style="text-align: center;">なし</p>			
その他	会議前、柴田新署長から着任挨拶		

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第1回 本所警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年06月18日 午後03時00分～午後04時30分

開催場所	本所警察署 講堂	出席者	協議会委員 7名 署長ほか 3名
------	----------	-----	---------------------

内 容

会議に先立ち、交通課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 協議会における意見要望等に対する取組結果
 - (1) 広報啓発活動の強化
 - ア 警察が災害時に果たす役割
 - (ア) 被災者の救護
 - (イ) 被災者の避難誘導
 - (ウ) 災害時における「自助」、「共助」の重要性
 - イ 災害発生時における地域住民の役割
観光客に対する一時滞在場所の教示等
 - (2) 分かりやすい避難所マップ
墨田区の作成した資料の案内と活用
 - ア 墨田区地震ガイドブック
 - イ 墨田区防災マップ
- 2 当署の主な活動
 - (1) 検挙活動
 - ア 殺人未遂事件の検挙
 - イ 偽造駐車禁止除外標章行使事件の検挙
 - (2) 新「両国交番」の開所
 - (3) 警視庁逮捕術大会
当署が21大会ぶり2回目の優勝

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 駐車監視員活動ガイドライン
現行どおり以下の路線、地域を指定して取締りを推進
 - ア 最重点路線
三ツ目通り、京葉道路、ダービー通り等12路線
 - イ 重点路線
水戸街道、新大橋通り、国技館通り等18路線
 - ウ 最重点地域
錦糸町駅周辺や東京スカイツリー周辺等
 - エ 重点地域
両国駅、両国国技館周辺や小学校周辺等
 - (2) 速度取締り指針
現行どおり以下の路線、地域を重点的に取締り
 - ア 警視庁指定重点路線
京葉道路、水戸街道、蔵前通り等9路線
 - イ 警察署指定重点路線
浅草通りと春日通りの2路線
 - ウ 重点地域
ゾーン30や小学校周辺
 - エ その他
移動オービスによる速度取締り等の交通対策
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 駐車監視員活動ガイドラインについて
 - ア 重点路線、重点地区の指定については現行のままで良い。
 - イ 人数が減ったのか、あまり駐車監視員を見掛けなくなったように感じるので、より目立つ、アピール性の高い活動で、効果的に駐車違反を抑止してほしい。
 - (2) 速度取締り指針について
 - ア 重点路線、重点地区の指定については現行のままで良い。
 - イ 移動オービス等を活用した、ランダムな時間・場所での速度取締りを継続して

ほしい。
ウ スピード違反車両を見掛けることが減り、速度取締り活動に一定の成果が出て
いると思うので、今後も継続してほしい。

[その他の意見要望等]

自転車の交通違反や歩行者の危険な道路横断が増加しているように感じるので、指導
警告や広報啓発を強化してほしい。

その他	会議前に、消防庁「本所防災館」において各種災害の疑似体験を実施
-----	---------------------------------

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することが
できます。